國定忠次 (25)

長谷川伸 作　岩田専太郎 畫

清水の鐵 (八)

「なあ、治三さん、けふ、どうかしてゐたでねえかね」
「酔つただよ」
「そんなら良いが。家の前に起つて、しげしげ、家を見てゐただ」
「治三が?」
「廊下へ行つて、又、己ちどまつて、おら達が家を、又、見てゐただ」
「酔つてゐるだからだ」
太郎兵衛は、平穏無事にしか解釈したくない。が、治三郎は、物ごころついて以來、他家を持つまで、長い間、ここにゐた、故郷の中での故郷は、この家だ、名残りが惜しまれたのである。
その日が暮れかけた。雨は小やみとなり、又、強く降つた。
外を駈ける、足音がした。やがて、
「兄キ、兄キ」
足音が家の前でとまると、鐵藏の聲だ。
「鐵さんかねえ」
婆が土間へおりかけた。
「兄キ、小さい兄キ。どうした」
土間へはいつてきた鐵藏は、蓑を着て、竹笠をかぶり、尻揚げの脛から泥跡をぬツと見せてゐる。
太郎兵衛は榾を、爐にくべながら、
「鐵か。まあ、あたれ。寒くなつたらう」
「寒いのは時節の故だ。なあ兄キ小さい兄キ。どうした」
「けふは久振りで、おらと、さつきまでここに酒盛してゐただ。何でそんな顔しるだ?」
「酒盛り?。はあ、そんだら心配ねえ」
安心した鐵藏は急に寒さをおぼえ、囲爐裡の傍へ、膝と共に手をのばし、
「おら、後で氣になつたでな、すぐここへ來てえと思つただが、お寺には根性の惡い坊主が澤山ゐるだ、そいつ等が用をやたら云ひつけるだから來る事出來ねえ」
婆が酒盃をもつてきた。
「鐵さん、満足できたのか」
「うん。云ひつかつた用をみんなして置たら、あすになつてもこゝへ來られねえから、用みんな打遣つてきただ。村は冷えるだなあ」
「さあ、さうでもねえだらう、お寺の方が冷えるだらうに」
「なあに、村の方が冷えるだ。あ、囲爐裡の火といふやつは、良いものだ」
手を榾火にかざす鐵藏に、太郎兵衛が、
「鐵」
「何だ」
「われ、家へきたら、すぐ、する事はねえか」
「何だね」
「坊さまになつて何を習つただ」
「おら、掃除と飯炊を習つた」
「あんな事を又いふ。何でもいい、婆さまにお線香あげろ」
「おら、厭だ」
「厭といふことがあるか、お袋のお位牌に、われ、線香が何であげられねえ」
「厭だ、まだ、おらあげねえさ、時がくれば百本も二百本も線香あげるだ」
「鐵不孝いふでねえ」
「厭だよ。おらの氣持おばあちやん知つてゐるからいいだ」
「仕様のねえ奴だ、おらが代りに上げてやる」
「厭だといふに、何で、おらの代りするだ」
「黙つてゐろ」
太郎兵衛が佛壇に向かふのを、婆は睨むやうに見てゐる。
婆が、心配さうに、
「鐵さん、お前、今ごろここへ來るには、何か譯があるだらう」
「嫂サ、おら心配して來ただ。けふ、午前に、小さい兄キがお寺へ來ただ。おら、外へ呼び出して、ゆうべ、氣になる夢見たからわれが顔を見にきただが、無事な顔みたから嬉しいといつてな」
「ここへ來る前に、お寺へ行つたのか、それでは、けさ余ッ程早く村出ただな、それで鐵さん」
「おらに、頼むから、名僧智識になつてくれと云ふだ。小さい兄キも物判らずやだ、おら坊主は性に適はねえと、あれ程いつてあるに、何でも名僧智識になれといつてよ、終ひに泣出して怒るだ、おら困つただ」
太郎兵衛も傍へきて、その話を聞いてゐる。
「はあ、さうだ。おら、小さい兄キの家へ行つてみるだ。氣になつてならねえだもの」

優良葡萄酒赤玉ポートワインは夏痩せ防止に大變効果があります　即ち食前に召上れば食欲を促し食事を進め而も胃液の分泌を昂めて喰べたものを能く消化し能く身につけるだけでなく是自体も極めて吸收され易い榮養素を豊富に有してゐますのでそれがまた身につくのであります

斷乎たる措置を執るの已むなきに至れり

閣議決定の聲明書内容

【東京電話】政府は支那飛行隊の不法且無軌道なる爆撃によつて上海は未曾有の混亂に陷り、事態は益々惡化し居留民及び帝國の權益保護のためには一大決意と萬端の準備を必要とすることを認めたので十四日午後十時卅五分より首相官邸に再び臨時緊急閣議を開き近衞首相以下全閣僚出席、先づ米内海相より緊迫せる上海の狀況につき公電を基礎に詳細な報告をなし次で廣田外相からも海相の報告と略々同樣、支那軍の不法行動に關する説明があつて後意見交換の結果、支那軍が中部支那に於て斯の如く國際信義を無視し、暴戻の限りを盡す行動に出づるに至つては隱忍に隱忍を重ね、事態の擴大を防ぎ能ふ限り犧牲を少くして東洋平和の根本を固めんとした我が方としては、既定方針に變更なきも行動は自らこの事態に添はざるべからずとの見地に立ち、別項の如き聲明書を發表することを決定すると共に、次の如き申合せをなし十五日午前零時五十分に至つて散會した

申合せ

今朝來の支那軍の爆狀は言語に絶し、單り在留邦人のみならず在留外人及び支那良民の生命財産に甚しき損害を加へたが、日本政府はこの事態に鑑し迅速に國際的救恤の手段を講ずることとし先づ食糧、藥品等を現地に急送し上海在留邦胞はもとより、列國在留民及び支那民をも救恤するとした

聲明書

【東京電話】十五日の閣議で決定した聲明書内容左の如し

帝國 はつとに東洋永遠の平和を祈念し、日支兩國の親善提携に力を致せり、然るに南京政府は排日抗日を以て國論昂揚と政權強化の具に供し、自國の國力の過信と帝國の實力輕視の風潮と相俟つて更に赤化勢力と苟合して排日侮日愈よ甚しく、以て帝國に敵對せんとするの

機運 を醸成せり、近年幾度か惹起せる不祥事件は何れもこれに因由せざるなし、今次事變の發端も亦斯の如き形勢がその爆發點をたまたま永定河畔に選びたるに過ぎず、通州に於ける神人許さざる殘虐事件の因由亦こゝに發す、更に中南支に於ては支那側の挑戰的行動に起因し帝國臣民の生命財産既に危殆に瀕す

我が 居留民は多年營々として建設せる安住の地を涙を呑んで遂に一時撤退するの已むなきに至る、顧みれば事變發生以來屢々聲明したる如く帝國は隱忍に隱忍を重ね事件不擴大を方針として、努めて平和的且つ局地的に處理せんことを企圖し、平津地方に於ける支那軍屢次の挑戰及び不法行爲に對しても我が支那駐屯軍は交通線の確保、及び

我が 居留民保護のために眞に已むを得ざる自衛行動に出でたるに過ぎず、而も帝國政府ははつとに南京政府に對して挑戰的言動の即時停止と現地解決を妨害せざるやう注意を喚起したるにも拘らず、南京政府は我が勸告を聽かざるのみならず、却つて益々我が方に對して戰備を整へ

現存 の軍事協定を破りて顧みることなく、軍を北上せしめて我が支那駐屯軍を脅威し、又漢口、上海その他に於ては兵を集めて愈々挑戰的態度を露骨にし、上海に於ては遂に我に向つて砲火を開き帝國軍艦に對して爆撃を加ふるに至れり

斯の 如く支那側が帝國を輕侮し不法暴虐至らざるなく、全支に亘り我が居留民の生命財産は危殆に瀕す、帝國としては最早隱忍その限度に達し支那軍の暴戻を膺懲し以て南京政府の反省を促すため今や斷乎たる措置をとるこの已むなきに至れり

斯の 如きは東洋平和を念願とし、日支の共存共榮を翹望する帝國として夙より遺憾とする所なり、然れども帝國の所期する所は日支の提携にあり、これがため支那に於ける排外抗日運動を根絶し今次事變の如き不祥事發生の根因を芟除すると共に、日滿支三國間の融和提携の實を擧げんとするの他意なし、もとより毫末も領土的意圖を有するものに非ず、又

支那 國民をして抗日に踊らしめつゝある南京政府、及び國民黨の覺醒を促さんとするもので、無辜の一般大衆に對しては何等敵意を有するものに非ず且つ列國權益の尊重には最善の努力を惜まざるべきは言を俟たざる所なり

臨時議會を召集に決定す

【東京電話】政府は十四日深更の緊急閣議に於て帝國政府としての重大決意を固めたが、右の事態に應じて速かに臨時議會を召集する方針を決定した、仍つて政府としては諸般の準備を急いだ上、近日中に閣議に於て臨時議會召集の手續を正式に決定する段取である

爆撃・上海全市に轟く

支那軍の空爆 國際問題化

【上海十四日發同盟至急報】血迷つた支那軍は上海全市所かまはず猛烈に爆彈を投下、外人避難民多數を殺傷しつゝあり、この殘虐行爲に各國領事團は早くも活動を開始し、不法極まる支那軍の責任を嚴重に問はんとしつゝあり、支那軍の空爆は特に重大な國際問題となりつゝあり

在住外人は憤激

【上海十四日發同盟至急報】支那空軍の爆彈投下振りは全く狂氣の沙汰で、フランス租界、共同租界ノ停車場に投下無辜の外人多數を死傷せしめつゝあり、浦東スタンダードナイルタンクも爆彈命中せるもの如く同附近は黑煙に包まれてゐる、なほ呉淞においてはアメリカ東洋艦隊旗艦オーガスタス號の傍らにも落下し、果して照準を定めて爆擊しつゝあるや否や頗る疑問で上海在住外人は支那軍の無軌道振りには今更の如く驚き非常な憤慨に燃えてゐる

外人多數死傷す

【上海十四日同盟】無軌道の支那航空隊の空爆は午後六時半頃上海目拔きの南京路パレスホテルに爆彈二個を投じ、同所に避難せる外人中に多數の死傷者を出し、附近に放置しあつたガソリンに引火し火災を起し、現場附近は慘憺たる狀景を呈してゐる

街頭は死體の山

【上海十四日發同盟至急報】支那軍の空爆で最も慘劇を呈して居るのは上海目拔きのカセイホテル、パレスホテル一帶で、南京路のカセイホテル玄關前に爆彈一箇落下し、避難民殺到中だつたため死傷者數十、負傷者數百を出し街頭は死體の山、數十台の自動車は粉碎され、收拾すべからざる慘狀であり、未曾有の慘事といふも過言にあらず、その悲慘は語るに絶するものあり、目下各國救護班出動、死傷者の收容中である

支那軍の殘虐振り

パレス、カセイ兩ホテルの慘

【上海十四日同盟至急報】支那軍のノースロップ重爆撃機四臺は午後四時過ぎ再び上海上空に飛來したが、敵はバンドの招商碼頭に四個の爆彈を投下した、爆彈は招商前の河中に落下し、その反響で招商ビルの窓硝子はメチヤ／＼に破壞された、我軍の猛擊手強しと見た敵機は倉皇として機首を西方に轉じて遁走した、血迷へる支那機はついでイギリス人經營のパレスホテル、カイセホテルに爆彈三個を投下し、うち一個はパレスホテルに命中屋根を貫き地階に達しホテルの被害は甚大である、南京路に面したホテルの周圍は破壞され直ちに消防隊の出動をみた、更に爆彈二個は同じく英人經營のカセイホテルに命中、南京路に面した窓硝子數百枚は悉く破壞された、中一個は七階の窓硝子を拔き一個は玄關の庇を貫き地階に達した、當時一帶に避難した支那民衆は爆擊機現れるとみるや安全地帶を求め南京路に移動、カセイホテル、パレスホテル一帶に避難してゐたが爆彈投下で二百餘名の支那人避難民並に外人八名も慘死した、中一名の妙齡のダンサーは爆彈のため顏面をくづされ『水を呑ましてくれ』と絶叫しながらこときれた、更に一アメリカ人はギャング物で有名な小說を手に握つたまゝ街上に殪れた、獰惡な支那軍の殘虐振りに上海の外人街は陰慘の氣を漂はしめるものがある、カセイホテルの階段は血の海で大理石の四壁に血潮が飛び散り、東洋一を誇つた華麗なカセイホテルも今や全くみる影もない

外人續々避難

【上海十四日發同盟至急報】十四日午前、午後に亘り敢行された敵機空襲は虹口方面一帶に恐怖を與へ、特に支那側は午後四時を以て全面的に總攻擊開始を決定した旨を日本を除く各方面に宣傳し外國人側にもその旨内報した爲事件勃發以來相つぐ支那人の移轉騷ぎを他所目に見てゐた虹口在留外人等も、午後三時半頃に至り西部地帶に引揚げる者ひきも切らず、工部局外人巡捕はこれら外人を助け保護に當つてゐる

目を蔽はす慘狀

【上海十四日發同盟至急報】午後四時支那側の連續的空爆はバンド北京路さきの碼頭に落下した爆彈は、折柄午前中の空爆で虹口、楊樹浦方面から殺到した數萬の避難民の眞只中に落下し死傷者無數、上海隨一の華麗街南京路上は死傷者の鮮血で眞紅になり、或は腕を奪はれ、或は頭をやられた瀕死の重傷者が血の海の中をはひ廻り、上海一番の國際社交場カセイ、パレス兩ホテルに宿泊中の外國婦人等はメチヤ／＼に紛碎された窓ガラスに傷ついて狂氣の樣に泣きわめき、道路一杯動きのとれぬ樣な混亂の中から逃れようとして踏み殺された小兒など、思はず目を蔽はせる慘狀である

壯烈なる空中戰

【上海十四日發同盟至急報】午後四時三十分海軍武官室發表―午後三時眞如上空において我が水上機二機は敵のノースロップ機一機と空中戰を演じ見事之を射落したり

敵機三台を射落

【上海十四日同盟至急報】その後の情報によると、十四日午後四時の支那軍爆擊機第二次空襲の際における敵の損害は左の如くである

一、わが旗艦○○艦載機は租界上空の戰鬪で敵のノースロップ大型爆擊機一台を射落した
一、軍艦○○艦載機は眞如上空の戰鬪において、敵のカーチズウオーク戰鬪機一台を射落した
一、わが艦艇の高射砲彈はカーチズウオーク戰鬪機一台に命中、これを射落した

暴風の闇夜に砲聲殷々

【上海十五日同盟至急報】十五日午前零時五十分、我が軍は敵の砲擊に應戰し猛烈な砲火を開き、目下砲聲殷々として闇の上海の夜は、前日來の暴風やまず依然暴風吹きまくつてゐる

我陸戰隊本部の損傷は意外に輕微

全線將士の士氣軒昂

【上海十四日同盟至急報】海軍武官室發表―午後九時半現在の戰況左の如し

一、八字橋方面に於ては彼我目下激戰中
一、敵は上海與滬鐵路を越え三義里方面まで進出し我が方と對峙中
一、我が方は北四川路の一線を堅守しをれり
一、余綿に亘り砲聲しきりに聞ゆるも、殆んど皆我が方より敵に加へる砲擊にして、敵の砲兵陣地は殆んど沈默の已むなきに至つた模樣
一、午後の砲擊における我が陸戰隊本部の損傷は意外に輕微にして、落下せる銃砲彈は殆んど全部盲彈なり、全線將士の士氣頗る軒昂たり

虹口一帶に燈火管制

【上海十四日同盟至急報】午後七時十分邦人密集地たる虹口一帶は敵の空襲を慮り嚴重な燈火管制を敷いた

北四川路火災

【上海十四日同盟】敵の爆擊で北四川路一帶に火災を起し、日本人經營の百貨店、購買組合、内山書店附近に目下延燒中である

各國旗翻る

【上海十四日發同盟至急報】上海市内の各ビルディング大住宅等は、英、米、獨の諸國の國旗をそれ／＼屋上に掲げ支那の砲擊爆擊を避けんとするもの極めて多くなつた、ビルディング屋上より眺むればこれら各國々旗が翩翻として翻り上海ならでは見られぬ戰時異風景を現出して居る

海軍省聲明

今や有効なる手段を執らざるべからず

【東京電話】海軍省聲明、十四日午後二時三十分發表

大山事件 における支那側の不法極まる暴虐行爲は日支兩國委員及工部局員立會の實地檢證によりいよいよ明白に確認せられたるに拘らず、支那側はその非を全く顧みず却つて不遜にも我方に對し積極的進攻の態度を示し上海方面の事態は頓に緊迫したるも、我方としては多數各國人の居住する國際都市たるの故を以て自重に自重を重ね、殊に十三日列國大使より日支兩國に對して調停の申出であり我方は之に對し審議中なりしため昨日來の支那側不法攻擊に對しては單に應戰に止め、

支那飛行 機の租界内低空飛行に對し攻擊を加へざりしが、本十四日午前十時頃、陸戰隊本部及總領事館等に對し爆擊を加ふるの不法を敢てし暴戻言語に絶す帝國海軍は今日まで隱忍に隱忍を重ね來りしが、今や必要にして且つ有效なる凡ゆる手段を執らざるべからざるに至れるは從來の念願に鑑み甚だ遺憾とする處なるも亦已むを得ざる次第也

長谷川長官も重大聲明

【上海十四日同盟】長谷川第三艦隊司令長官は本日午後次の重大聲明を發表した

支那軍隊の挑戰的攻擊を受けたる我が第三艦隊は自衞のため必要とする處置を執るの已むなきに至れり、仍て支那軍隊の占據する地區及び其の軍用施設附近にある一般住民は直ちに右以外の適當の地域に撤退することを勸告す

昭和十二年八月十四日
長谷川第三艦隊司令長官

敵の主要陣地占領

小松地山に日章旗翻る

【南口十三日同盟】十三日午後六時十四分我が砲兵隊は三方より一齊に敵の主要陣地小松地山の砲擊を開始した、同五十七分集中砲火を浴せた後、同七時敵のひるむに乘じて○○部隊は頭上にも突擊を敢行し、僅か十八分して完全にこれを占領日章旗を翻した

南口鎭の彼我損害

【天津十四日同盟】南口鎭の戰鬪における我軍の損害は十三日午後十時現在において戰死九、負傷六十名、尚ほ支那軍の損害五百名に達してゐる

【南口十四日同盟】昨日來の南口の激戰で○○部隊の戰死は將校以下十名、負傷者三十餘名に達してゐる

靜海縣城の陷落迫る

【獨流鎭十四日同盟】津浦線獨流鎭に進出した○○部隊は同縣附近に陣地を敷き、靜海縣城に據守する支那軍に對して目下猛烈に砲擊を加へつゝあり、靜海縣城の陷落は既に時間の問題となつた

海相けふ放送

【東京電話】暴戻支那膺懲の火蓋を切つた帝國海軍の斷乎たる決意を國民に告ぐるため、米内海相は十五日午後七時三十分より十五分間『帝國海軍の決意』と題してAKから放送することとなつた

英政府申出で

【ロンドン十四日同盟】イギリス政府に於ては日支兩軍が軍事行動を開始して以來事態推移に重大關心を持つて注目してゐたが、十四日に至り東京駐箚の英國大使を通じ日支兩國政府に對して申出を行ひ、上海共同租界をその軍事行動地域に包含せざるやう希望を表明した

我水兵二名、青島で支那人に狙擊さる

犯人は自動車で逃走

【青島十四日發同盟至急報】十四日午後一時半頃當時浙江路巡邏中のわが水兵が支那人のため狙擊され二名負傷した

【青島十四日發同盟至急報】海軍武官室發表＝狙擊犯人は黑上衣ズボンの便衣服の男で自轉車で後方より來り服部二等水兵を狙擊背後より腰の中央に盲貫銃創を負はせ逃走せんとするを追跡中に更に殿砲辻本二等機關兵を狙擊した左腹部に盲貫銃創を負はせ自動車で逃走した

不再錄號外發行

十四日夜上海大混亂に陷る、及び二・二六事件判決を收錄した不再錄號外を發行、配達致しました

辭令

【東京電話】
參謀次長 陸軍中將 今井清
免本職兼職 參謀本部附被仰付

人

◇林財務局長 東上中十六日歸任の豫定
◇日笠博雄氏（京城府商務課長）十四日入城本町ホテルへ
◇鎌田浩少佐（朝鮮憲兵隊副官）新任挨拶のため十四日本社來訪（寫眞は來社の鎌田少佐）
◇池田興三郎氏（前共濟無盡社長）中央無盡創立の挨拶のため十四日本社來訪▲鮎澤富發氏（前共濟無盡專務）同上▲佐野茂蔵氏（前興業無盡社長）同上▲林嘉吉氏（前共立無盡社長）同上

東西南北

歩兵豫備少將の肩書を持つ西岡本府地方課長、號外の鈴が鳴つて來るとジツとしてゐられず▲自分で飛出し息もつがずに讀み下し、讀み終ると號外を丸めて握りしめ　ウ…▲とうなりながら握り潰し『やり居るノウ、俺も軍人だ、チヤンチヤン坊主の首を叩き切つて見たい』▲そのあとでは必ず軍刀を出して振り廻すので家族の人々、傍から『又ですか』と（寫眞は西岡本府地方課長）

社説

金釵會の誕生

世界大戰が勃發してから後間もなく、フランスに『短裾會』といふものが出來た。これはパリの上流婦人の間から提起されたもので、國家非常の際、婦人はあらゆる節約をなし、一切の華美贅澤の風を捨て、それによつて家庭經濟の節約をはかる美風を興し、一方それによつて節約し得たるものを國家に奉献しようといふのが主旨であつた。そして若き婦人の衣物の裾を短かくしようといふことを申し合せた。假りに百萬の婦人が、スカートの裾を八寸づゝ縮めたとすれば、平均十錢づゝ節したと見ても十萬圓の節約になるといふのであつた。勝の人はこれを短裾會と呼ばずに、通稱『八寸會』と呼んでゐた。これは忽ちにしてフランスに擴がり、莫大な献金が行はれた。かくしてフランスには裾を短くする風習が起り、やがて全世界を風靡するに至つた。

×

永き傳統を守つて、内房の奧深く籠つてゐた朝鮮の上流の婦人が時局の風潮に刺戟されて蹶起し、金釵を皇國のためにお役に立てようと、愛國金釵會(假稱)を近く組織しようといふことになつたといふ報道はまことに欣快に堪へないことで、思はずフランスの短裾會のことを想起したことであつた。婦人が進んで國家のためにつくすに方り、先づ以てその身の廻りから取りかゝつて行くといふことは、極めて自然なことであると同時に、至つて奧床しい情緒の現れと言はねばならぬ。同じく世界大戰に際して、ドイツの婦人が軍事費の献納をするに方つて、矢張り身の廻りから始めて、指環や寶石や腕環などの献納をしたことは有名なことである。金釵會の誕生は非常時局に處する雄々しき覺悟の現れであると同時に、將來に對して、子女は勿論のこと、子々孫々にわたつて、一つの美風を留めるものであつて、その精神的、社會的意義が極めて深いものがある。

×

北支事變勃發以來、朝鮮における國民大衆の愛國運動は、まことに熾烈なものであつて、その熱誠と眞摯とは全く驚歎の外はなく、半島二千三百萬國民の銃後の支援は、天人の共に感銘措かざるところである。而して今こゝに内房の奧から上流婦人の運動を見るに至つたことは、名實共に眞の擧國一致、上下一心の發現そのものであつて、まことに美しく感激しき内鮮一體の成果と言はねばならぬ。而して此の金釵會誕生の國家的乃至社會的意義を深く省察して、之を將來に活かして行くことは最も大切な努力である。短裾會の精神が今日まで全フランスに活きてゐるやうに、金釵會の精神も永遠に活かして行かねばならぬ。この意味からしても、金釵會の存立の意義は、國防献金といふ直接的な行爲の外に、永遠性を持つ極めて深いものであるといふことを忘れてはならぬ。

鮮滿、固い握手

朝鮮から重要な人物を送り 將來を語る南總督

南總督は滿洲國轉入官吏に對して一場の訓示を與へた後、午前十一時から總督室で次の如き談をなした

今度五族協和の大方針を徹底の爲、廿五名の朝鮮人官吏が滿洲國の樞要の地位に任命された。これは任官となつた人々の名譽であると共に鮮滿一如の礎石であり、その責務も重大で、その人々が滿洲國官吏として忠良でありその責務を果し滿洲國側、關東軍の信頼を得れば將來續々と任命される朝鮮人も多くなると思ふ、これ等の人々には、希望を述べ又常住も聞いたが、非常な意氣込みで勇躍任地に就くことゝなつたことは滿足に思つてゐる、この外に韓相龍君は關東軍の顧問として既に任命されてゐる、關東軍の高級顧問は結川、津田、安川の三氏で何れもわが實業界第一流の人々で韓相龍君は半島を代表して、まことにその人を得たものである、朴榮喆君は滿洲國名譽總領事として期待と好感を以つて迎へられ、鮮滿關係は良好に進捗してゐる、今回轉入する李範益君は永らく政治に參與しその手腕力量も知られた人で、今回迎へられて國務院の顧問として赴任するとになつた、このことは曾つて昨年十月圖們に於ける植田關東軍司令官と私との會見した時に、滿洲國五族協和に基く朝鮮人官吏のことに就いて話合つたことが今日實現したもので、今後鮮滿關係はこれ等の人々の努力と精勵によつて必ずや期待するものあるを信ずるものである

滿洲國轉入者に總督訓示

きのふ本府に招いて

既報の如く鮮滿一如の根本方策遂行のため朝鮮人官吏の中堅者六氏を滿洲國に轉入せしめることになつた、十四日午前十時、南總督は關東軍顧問韓相龍、滿洲國名譽總領事朴榮喆の兩氏を初め今回轉入する李範益、李家東、金昌永、洪化善、洪永善、金光植の八氏を總督室に招き大野政務總監立會の上

一、東洋は東洋人の手によつて平和を確立し、内鮮は一體となつてその具現に努め、滿洲が參加してゐるがこれに支那を加へねばならぬが支那は自覺せぬのでこれを十分に自覺、認識せしめるやうに努力、日本、滿洲、支那は一丸となつて東洋の平和に努めねばならぬ、各位は赴任の上はあらゆる困難を克服せねばならぬ、或は事務上のとで、私的のことで意見の衝突もあらうが東洋平和を確立するといふ大乘的精神に立脚して困難と戰へ

一、行政機構が改革された機會に總てを認識し諸君は鮮滿一如の礎石となつて眞に朝鮮人の模範となり朝鮮人を代表して行く態度を示すこと

一、滿洲國の國情をよく知る必要がある、關東軍との關係、日本との關係に就いて研究しその眞相を知り然して自身の體驗を基として總てを處理しそれと同時に滿洲國にゐる朝鮮人を認識せしめ今日までの面白からざる印象を一掃せしめよ

一、滿洲國には百萬の朝鮮人がゐる、その大部分は古くから行つてゐる人たちで朝鮮統治の上に快しとせぬ者もあるかも知れぬが既に時代は變遷し日滿一體の今日從前の思想を持つてゐる如き者がある場合にはよく敎へ導き權利のみを主張せず國民としての義務を果すやうに指導せよと約三十分間に亘つて懇々と訓示した、これに對し各自その感想を披瀝し、大野政務總監を總監室に訪ねて正式に挨拶を述べた、なほ大野政務總監は正午人々を朝鮮ホテルに招待して午餐會を催した

(寫眞は右から前慶南府山郡守李必東、外務部末事務官、扶餘外務部長、前全州地方法院判事金光植、前忠南司事李範益、前慶北醴泉郡守申化善、關東軍顧問韓相龍、前全北錦山郡守金昌永、前平北昌城郡守洪永善の諸氏)

大正九年法律第五十三號中改正法律公布に就て

林財務局長の談(下)

次に從來關税免除の特典を受けて居ります所の旅客又は貨物を運搬して國境を出入する車輛が滿洲國内で交通事故等の爲破損しました際其の破損した車輛或は其の解體材又は屑品、附屬品を朝鮮に持ち歸る際之等の物品に對する輸入税を免除することゝし又鮮内に鐵道車輛が不足して鮮内の貨客輸送上支障を來す如き際一時滿洲國側から車輛を借入使用の上再び輸出する場合其の車輛に對し輸入税を免除することゝしたのであります

◇

之は軍隊輸送等の爲朝鮮國有鐵道に於て不足車輛を借入れる場合及び滿鐵が朝鮮總督の委託を受けて行ふ北鮮の國有鐵道の運輸業務の爲に一時本社等から借入使用する場合を考慮したのでありまして滿鐵をして北鮮に於る鐵道運輸業務の爲に鮮内に於ける貨物の激大出貨量を考慮し之に應じ得る丈の車輛を北鮮に常備せしめ置くことは車輛の利用上著しく不經濟でありますから滿鐵の全體的な運輸經營上の利便を考慮して旅客の量に應じて臨時北鮮に車輛の迴送使用を可能ならしむるの途を開くの必要を認めたからであります

◇

次に陸接國境隣接地域におきましては對岸滿洲國側には相當の市街地を控ふるに拘らず朝鮮側に於ては同程度に發達した市街地の無い所が少くないのでありまして之等地方の住民は器具、機械、日常用品等を加工又は修理する爲對岸市街地に輸出し再び之を輸入する場合が多々あるのでありますが、斯る場合に一々輸入税を課することは實際上苛酷でありまして國境地方住民の不便が甚だしいのでありますから之等物品を六ケ月内に再輸入する場合には輸入税を免除することとし、又國境地方住民が冠婚葬祭用具等を對岸から借入使用するが如き場合之を一年内に再輸出するものに對しては輸入税を免除することと致しまして國境地方住民の利便を圖つたのであります

◇

改正の第二點は我國燃料國策の遂行上内地と呼應して揮發油及びアルコール混用制度を採用することと致しまして、新義州にアルコール製造工場を設立し同地方及び對岸安東方面に有ります所の木材屑を原料として混入用アルコールの製造を爲さしむる計畫でありますが、其の混入用アルコールの低廉豐富なる供給を圖る趣旨に於て其の原料木材屑に對する輸入税を免除することゝ致したのであります

◇

改正の第三點は國防國策の見地から致しまして我國製鐵事業の健全なる發達を圖る爲、内地と步調を一にし事業用品の輸入税免除を受け得る製鐵事業者の資格を改正したのであります、卽ち從來は一年三萬五千噸以上の能力を以て銑鋼一貫作業を營む製鐵業者に對し其の事業用品の輸入税を免除しておつたのでありますが、今回其の設備の生産能力を一年銑鋼共に十萬噸と云ふことに改めますると同時に我國鐵資源の關係から、鐵分含有量少き所謂貧礦及び砂鐵其の他特殊鑛物を含有する鐵鑛石を原料とする製鐵事業の發達をも助長するの必要がありますので其の事業用品に付ても輸入税を免除することとしたのであります、尙此の外鑑に行はれました朝鮮に於ける地方制度の改正に伴ひまして字句の修正をしたものが一、二あります

以上が今回の大正九年法律第五十三號中改正法律の要旨及び改正の趣旨であります

應召者家庭へ 政府米の拂下げ

朝鮮でも折角考究中

農林省では應召者の家庭へ政府米の拂下げを決定したが朝鮮でも同樣拂下げることになる模樣で目下農林省事務所を通じて農林省と交渉中である

現行米穀統制法の規定に據れば鮮内で買ひ上げた米は季節調節を目的としたもので朝鮮には同法第五條(整理賣却を行ひ得る規定)が適用されてゐないため何等かの便法を講じなければ鮮内での賣却は不可能なのでこの點につき農林省と交渉を續けてゐる

然し古米は既に季節調節の機能を終つた米であるから米穀法第五條に據らず賣却出來るとの解釋もあり何れ一兩日中に正式決定を見る譯である、尙は鮮内にある政府米は卅四萬石である

航空郵便料金

十六日から改正

遞信局では來る十六日から航空郵便料金改正を行ふこととなつた、卽ち無封書狀と第二、四、五種で朝鮮内發着及び大連宛のものは六十グラムまで每に廿五錢、また内地、臺灣、樺太、南洋群島宛のものは六十グラムまで每に五十錢と改正せられ、關東局管内(大連を除く)宛の料金は從前通り、現在實施してゐるものは朝鮮、大連間のものは無封卅五瓦每に十五錢、第二、四、五種は七十五瓦每に廿五錢、内地宛のもの無封卅五瓦每に卅錢第二、四、五の三種は七十五瓦每に五十錢であつた

零細な献金にも銃後の赤誠光る

波打つ半島の愛國心

本社寄託

〃上海に激戰展開〃の號外しきりに飛ぶ十四日、銃後の赤誠心を燃焼させて本社へ献金を寄託する人々の面上にも緊張の色が漲つてゐる、眞ツ先にかけつけたのは他所五日會、この

藝者衆や

料亭の一流所で結成された團員がポンと投げ出した百圓に國防献金に、續いて東拓鑛業本社從業員一同も同じく百圓、元町二塚本兼幸氏の四十圓、日本共立火災京城出張所員氏からも十圓づゝ、都山流尺八京城支部からは十二日夜DKで放送した謝禮廿五圓をそつくりそのまゝ、また…職員が十錢、廿錢と持ち寄つた貴い汗の献金十圓、…町二ノ百七十二番地住民一同の三圓と…非常時に内鮮一體となつて起ち上る半島同胞の赤誠心が光る、これらは何れも朝鮮防空器材献金に入れられるので、一方

皇軍慰問

費にも東拓の社員一同が献金した三百六十六圓十八錢、本町夏川茶舗店員一同は再び五圓十九錢、恩山公立小學校同窓生が勞働して得た十四圓六十五錢、…等々と寄託された

朝鮮防空器材献金

金一百圓 京城府旭町一丁目 五日會 久本方 五日會々員百太、小染、榮三、與太郎、文二、たみ朝、七五三、君小六、牛七、

金一百圓 京城府黄金町二丁目一九五 東拓鑛業本社一同

金五十圓 京城府大和町一丁目三八 長谷三惠子さん 博さん、知代子さん、勝市さん、幹康さん、

金四十圓 京城府元町二ノ八 塚本兼幸氏

金二十五圓 京城府校洞町四十八 都山流尺八 京城部 一同

金十圓 忠南瑞山郡大湖芝面 片原農場 從業員一同

同 京城府黄金町二丁目一九九 日本共立火災保險京城出張所内 三鍋才次郎氏

同 同上 黑米松平氏

同 同上 藤木利雄氏

同 同上 村田忠氏

同 同上 片山實男氏

金三圓 京城府…町二ノ二一 五十七番地住民一同

金一圓卅錢 京城府…町四六ノ三 …氏外二名

日計金三百七十九圓三十錢也

累計金二萬二千二百四十一圓八十七錢也

皇軍慰問金

金三百六十六圓十八錢 京城府黄金町二丁目一九五 東洋拓殖株式會社京城在勤者一同

金五十圓 京城府大和町一丁目三八 長谷川三惠子さん、博さん、知代子さん、勝市さん、幹康さん

金十四圓六十五錢 忠南扶餘郡恩山公立小學校同窓會一同

金十圓五十錢 京城府本町一丁目四七 夏川茶舗店員一同

金五圓十九錢 京城府光化門通七六 長谷川スマ子さん

金五圓 京城府若松町四六ノ… 韓…氏外二名

日計金四百五十一圓五十二錢也

累計金二萬二千六百四十一圓五十六錢也

慰問袋を委託し來る

京畿道廣州の人々は團結して慰問袋五十個を本社へ州支局を通じて寄託した、また京城…町二丁目の…郎氏も…來た

訂正 十三日朝鮮防空器材献金醵出者名中、…吉田直伸氏とあるは…の誤り

總計金四萬七千八百十三圓四十三錢

中央無盡會社 九月一日開業

中央無盡會社は與濟無盡を本社として九月一日より開業することゝなつた

鮮銀庶務課長更迭

鮮銀の池田庶務課長は中央無盡常任監査役となつたため辭表を提出したので鮮銀では後任詮衡中であるが多分十六日發表すべく多少の異動を見る模樣である

採鹽狀況

專賣局七月末現在採鹽高は合計一億八千五百八拾六萬一千瓩で之を各所別に示せば廣梁灣九千四百三拾九萬四千瓩南市二千二百四拾五萬六千瓩である

政府拂下の噂

相場は五節以降に惡化して中限が二圓三十五錢先限は九圓三十九錢と又新安値に墜落して前場を終了した而して低地安の原因に付いては立會中不明なるも政府拂下米ではないかと云ふ向が多く從つて買方中途で手を退いた者も少なくなかつた模樣である然し中には問題の颱風が襲來しつゝあるので賣方はこの不勢を幸ひに利喰を急ぐ者もあれば又賣進みを躊躇なす者も相當あつたので相場は低地安に比較すると下げ返つたものの如くである而して日曜明けは低地安に對する原因の判明と颱風の成行き如何により更に一と波瀾は免れない狀態であつた

三井物產

京城支店々員一同は皇軍慰問に一千圓を醵出して代表者服部氏が十三日本社へ持參、次で本府肥料研究所中の清水組現業員が持寄つた汗の結晶廿三圓も皇軍慰問金として寄託された

また京中四年生吉留直伸君も五十圓を國防献金に寄託したが、これは貿易局副事務官をしてゐた亡父直哉氏の一周忌の法要を記念しての献金である

本社寄託金 (八月十四日正午まで)

工業協會で 熟練工養成

申込は廿五日迄

朝鮮工業協會では熟練工養成のため今回機械科、電氣科の修業生各百名を募集することとなつたが資格は

一、滿十五歳以上の男子

二、小學校卒業者は普通學校卒業の者

八月二十五日までに申込むことゝなつてゐるが修業中は若干の手當を給する筈

西電の受電量

【平壤】西鮮合電の給電は著しい增加傾向を示し七月中の…電所に於ける水電受電量は千百八十二萬キロに…は既に七千八百七十…してゐる、この調子で…受電所のみを見ても…億キロは十月初頃迄に…ものと見られてゐる

府營家畜市場

東大門外の府營家畜市場は…四日が恰も開市滿十…に相當するので當日…を同所に招き記念…

棉作主任會議

各道棉作主任官打合會は…廿六の兩日總督府で…二十六日午後は當業…協議を進める…な議題は今年度棉花…定である

仁川穀物出入(十三日)

▲到着大豆二二…石小麥六二一叺▲…一四叺▲移出白米…米一一、九三〇…

少年少女軍國大行進

コドモ

けふは樂しい京日コドモ會 勇しく出かけませう 一時、七時の二回、府民館へ

みなさんもうご存知でせう、けふの京日コドモ會は、折々折上海と北支でわが日本軍が暴戻支那軍を相手に勇敢な戰ひを續けてゐる時なので、これらの地にあるわれらの兵隊さんの活躍を偲んで、プログラムは勇ましいながらもまた興味ある獨特の編成を致しました

◇

まづ全員一同で君が代を合唱して開會、池田先生のご挨拶があります。それから詩吟會と葵向館で ある少年達の勇ましい劍舞が數番あります、次に江藤旭高會のお嬢ちゃんが筑前琵琶演奏をやります その次には陸軍から特においでになる熊谷愛一少佐の〃兵隊さんのお話〃それからひかり舞踊會員の舞踊で殿後は漫畫映畫や本社トーキー版の北上事變ニュースなどみんな京日コドモ會以外には見られない素晴らしいプロです、今回は久しぶりのコドモ會でもありますので、大勢のみなさまがお集まりになる事を豫想して午後一時からと午後七時からの二回開會致します、満員にならぬ内に皆々みなさまの大行進をお待ちします、なほ入場料は無料ですが整理のため五錢だけ申受けます、大人は附添ひの方に限って十錢戴きます

プログラム

一、君が代合唱　　一同

一、開會のごあいさつ　本社主筆　池田林儀先生

一、君が代演奏　コロンビヤレコード

一、劍舞

川中島、城山（詩吟會）　詩吟會・葵向館
劍舞　亜本　倘君
詩吟　木村　朗水氏
水陸、大楠公（同）
劍舞　松本　佳也君
底岡陥落、兒島高徳（同）
劍舞　松本　和也君
詩吟　松野　隼水氏
落花紛々（葵向館）
劍舞　三河　芳江嬢
詩吟　木村　朗水氏
加藤清正（清吟會）
劍舞　推本 松本　倘君 和也君
　　　松本　佳也君
熊本城（葵向館）
劍舞　三河喜代子嬢
詩吟　松野　隼水氏
加波山
劍舞　三河　健児師

一、筑前琵琶合奏　江藤旭高會

肉彈三勇士
法服山　稻垣　旭政嬢
法辰山　江藤　旭任嬢
法師山　糸井　旭統嬢
法美山　矢田　旭智嬢
法遊山　江藤　旭高師

一、琵琶詩吟

古賀聯隊長　矢田　旭智丈
我有貴年　江藤　旭任嬢

一、講　演
兵隊さんのお話　熊谷愛一少佐殿

一、舞　踊　ひかり舞踊團
舞踊小唄　祇園綺日傘　天池　麗子嬢
　　　　　　　　　　　植松　榮子嬢
　　　　　　　　　　　岩本　和子嬢
　　　　　　　　　　　大西　京子嬢
　　　　　　　　　　　貞廣ひで子嬢
流行歌　春の悲歌　國分　冨子嬢
童謡　まんまるお月さん　大西　京子嬢
　　　　　　　　　　　植松　榮子嬢
流行歌　朗らかな水兵さん　佐々　博子嬢
童謡　南の風の　貞廣ひで子嬢
　　　　　　　　岩本　和子嬢
舞踊小唄　うかれ獅子　佐々　博子嬢
　　　　　　　　　　　天池　麗子嬢
舞踊小唄　藤野　秋葉千鶴子嬢
愛國歌　國防婦人の歌　岩本　和子嬢
　　　　　　　　　　　貞廣ひで子嬢
　　　　　　　　　　　天池　麗子嬢
　　　　　　　　　　　佐々　博子嬢
　　　　　　　　　　　國分　冨子嬢　秋葉千鶴子嬢
愛國歌　慰問袋を　全　員
指揮　佐々素影師
……レコード間奏……

一、映　畫
京城日報社世界的寫眞ニュース、北支事變特報、漫畫おいらの非常時、漫畫朱金昭

寫眞　少年劍舞に出演する上から三河喜代子さん、松本和也君、松本佳也君、舞踊「うかれ獅子」のお稽古する佐々博子さん、江藤旭高會のお嬢さん達

冷房装置

會場の府民館には多數係員がをりまして嬢ちゃん坊ちゃんのお世話を致しますからご家庭では安心してお出し下さい、又大ホールには冷房装置も完備致しております

飛行機にも カムフラージュ

英米自慢の最新機

軍隊で使ふ装甲列車や自動車には車體が綺麗な色に區分されて彩られ、變な模樣になってをりますが、あれは遠くからの見た眼をごまかすためで、カムフラージュ（偽装）といひます、英國では近頃飛行機にもこのカムフラージュをほどこすようになりました、この寫眞（上）がそれで、これは英國でも最新の戰鬪機です、ご覧なさい、兩翼から機體がカムフラージュの色模樣があります下の寫眞は米國で新しく海空軍に編入されることになったこれまた最新式の偵察爆撃機で、新しい工夫を凝らした構圖と輕快な機體が自慢のものです、これはカーチスＳＢＣ三型といひこれから第一線國防に參加します

觀戰記 梶氏極力飛を活用 敵の一筋に迫る

六段　飯塚勘一郎

現代流 爭霸戰譜

第三局　平手
先　梶　一郎
　　大和久　彪
圖は▲五六歩迄の局面

「持駒」△梶氏　角歩歩

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一	香	桂	銀			王		桂	香
二				金			金	銀	
三	歩		歩	歩		歩		歩	歩
四		飛							
五		歩	歩				歩		
六		馬							
七	歩		銀	歩	歩	歩	歩		歩
八			金					飛	
九	香	桂			玉	金	銀	桂	香

「持駒」▲大和久氏　歩

△三四飛 3
▲六六銀 12
△一四歩 15
▲五六歩 4
△三六歩
▲同　歩
△同　飛
▲八四歩
△八二歩 5
▲五七銀 7
△一五歩 16
▲四六銀 5
△一六歩
▲同　歩
△一七歩 6
▲同　香

持時間各七時間　累計　△梶氏　一時間五十四分　▲大和久氏　一時間四十六分

梶氏の敵の（八五歩）飛取りを避けて三四飛だ、次ぎに三六歩、同歩、同飛、三七歩、八六飛、同銀三六歩、同歩、五五角、七七銀、二八角成、同銀、五五角、三七銀七七角成、同桂、八九飛の順を狙つてみるから、先手その防禦旁々六六銀と中央の強化を計る、で、後手も三六歩は急ぐ必要もなしとの手順が充分示してくれてみるから、設囲する必要はないと思ふが

次ぎの先手五六歩は六九玉と寄るか、それとも四八銀と玉頭の強化陣を張つて手堅く備へて置き度かつた、此の五六歩に後手は隙さず、三六歩、同歩、同飛と捌いて出た、若し此處で先手三七歩なら

五六飛と歩を捲つさらつて、飛を縱横に活躍させようと云ふ塊膽である、然もその背後には持角の威力が先手の陣營に大な暗影を投じてみる。と、先手は敵の三六飛に構はず八四歩だ、次ぎに八三歩成るぞと脅やかされては後手も受けない譯には行くまい八二歩と受けさせ、五六銀と退却したは、大和久氏却々味をやる、だが、梶氏もそれは既に覺悟の前、一五歩と突いていよ〳〵敵の一筋に向かつて、猛烈な突撃に移る、即ち先手四六銀に對し、一六歩と突きくれ、更に一七歩、同歩と取らせた後續彈を何れに投じやうとするのか、以下後手方の攻兵こそ、興味津々たるものがある

童話 ハンマーのおぢさん

水戸ふじみ　野本年一畫

「天に代りて不義を討つ忠勇無双の我兵は……」と勇ましい軍歌が日の丸の波をけ立て〳〵お空までひゞいてゐます陣太鼓がこれに和しながら

ドン　ドン　ドン

と鳴り渡りました

おぢさん〳〵あぶないですよ

と

◎驛　兵さんや驛員さんが一生懸命に云つてゐます

こゝは驛のホームです

するとそこに

ピーッ

と云ふ勇ましい汽笛の音を相圖に勇然たる音をひゞかせて〃ボク等の兵隊さん〃をのせた汽車が勢ひよく發進して來ました

陣太鼓が一きは高く鳴り渡り

バンザーイ

バンザーイ

の聲はお空にまであふれて大人も子供もおぢいさんもおばあさんも一生懸命に日の丸の旗を振りかざしながら聲高らかに軍歌をうたつてゐます

××

かうした賑やかな勇ましい風…や…

…うな歡聲をよそに黙々と勞働…一人の服を着ていそがしそうに働いてゐる一人の

◎お　ぢさんがありました。

このおぢさんは手に持つてゐるハンマーで、車を一つ〳〵丁寧に一二度叩いてみてをりました。又車の心棒の處にある四角い鐵の蓋をとつたりもして見てゐました。この四角い鐵の蓋の中には心棒を包む糸に油がたつぷり浸してあるのです。心棒にヒビがはいつてはゐないか。ねじのぬけてゐるのはあるまいか。など、用意に細いところまで綿密にしらべてゐるのです

ほんの一すしたところを見落しただけでもどんなに大へんな事が起るのかも分らないのです。

◎兵　隊さんを乘せた列車にましてかな…大切な

ついて檢べるのですから、おぢさんの心の中は火のやうに熱く燃えて、他のことは何にも考へられませんでした。兵隊さんたちを〃無事に戰地にお屆けしよう〃と默ふ心だけです

」

こびの色が浮んでをりました。

これで大丈夫だ

どんな事があつても、間違などは絶對に起らないのだ。いや、自分の眞心だけでも間違などを起させやしない。もう、これで大丈夫

おぢさんは心の底から

バンザーイ

バンザーイ

と叫びました。

地ひゞきを發して汽車は遠のいてゆきます

バンザイの叫びはまだつゞいてゐます

兵隊さんの日の丸が、淺縁の驛に萌えて、勇ましく〳〵輝いてをりました

おぢさんはもう一度

バンザーイ

と心をこめて大きく叫んだのでありました

だと、おぢさんの目は

◎心　をこめて檢べ上げた車輛の各所にもう一度注がれてゐるのでした。

もう大丈夫だ

と、自分で自分に云ひきかせるやうに、おぢさんはつぶやいて、漸く安らかな、ゆつたりした自分の心に還つたのでした。

××

ハンマーとねぢまはしをもつた手を後にくんで、しばらく熱い思ひで、兵隊さんと、見送る人たちをみてゐましたが、いつの間にか側にゐたかわいゝ子供さんと一緒にハンマーを振り〳〵軍歌をうたつてをりましたこのおぢさんにかつての日、滿洲事變で鬼熱の中を戰ひつゞけたことがあるだけに、兵隊さんたちを思ふ心は一倍でしたけたゝましい音に發車のベルはひゞき渡りました。熱狂した群衆の聲は天を衝く勢ひです、破れるやうな萬歳の聲、とどろき渡る陣太鼓の音、…

◎兵　隊さんは窓に日の丸をふつてゐます。ハンマーも…

機械なしで川幅を計る法

みなさんが大きな川の岸に立つた時、いつたいこの川はどの位の幅があるのだらうとまづお考へになるでせう、時間があつて運動にもなると思つた時にはまづ試してごらんなさい、道具なしで川幅がすぐにわかる法があります、まづ、麥藁帽さんの帽子のひさしの先と眼とが向岸と一致するやうに首を上下して見ます、今度はそのまま首を動かさないやうにして後向になり、今定めた帽子のひさしの先と眼との合致點を陸上のどこかに見出します、その目標まで歩いて、歩數をかぞへれば距離はすぐに大體見當が出來るでせう

暑熱に捷つ體力を造る

植物ホルモンの作用

夏季の衰弱は腸の榮養吸收力の疲憊によるこの機能さへ強化し昂めれば、體力抗病力も増強す！

慢性胃腸病・肺患 病弱の方は一讀乞

暑さが加はるにつれて、何人でも食慾は減退し急に衰弱しがちである、俗に夏まけ或は夏痩せといふが、これは炎暑のために胃腸の機能――とくに小腸絨毛の榮養吸收力が著しく鈍る結果に他ならぬ。

これ ばかりか、夏季は新陳代謝が昂進し、養分の消耗が激しくなるのである

かやうに夏季は榮養を多く必要とし、更に榮養を補給する機能は逆に減退してくるのであるから、何よりも先づ胃腸を組織的に強化し榮養吸收力を昂めぬかぎり、胃腸壁はまず弛緩し食慾は減退し體力の急激な衰へのために遂には病勢も悪化するに至る。

寫眞 の上は、酷熱百數十度に達する製鐵所内部を示すもので、白く見えるのはドロドロに熔けた鐵の流れである。

異樣な服裝は熱を防ぐ作業服であるが、これを身につけてゐても體力の弱いものでは十分間と耐へられぬ、文字通り灼けつくやうな灼熱である。胃腸が健全で榮養の充實した軀は、これほどの灼熱にも耐へられ、常人をしのぐ強壯を誇ることができるのだ。

些しの暑さに倦怠を覺えたり衰弱したりする人は、一度小腸絨毛の吸收力をちからづけて見られるとよい、食物中の榮養は無駄なく血肉にかはり、體重も急に増加するのである

では 榮養吸收力を強めるにはどんな方法をとればよいであらう？單に消化をすゝめる程度の品なら撰擇に苦しまぬが、これでは胃腸壁の強化は望めない。

植物ホルモン活用のネオネオギーは、この目的に最も適つた唯一の藥物である。この品は植物ホルモンの細胞能動原たる特異のちからにより、疲憊した胃腸壁を組織から強化する稀らしい作用を有する。衰へた榮養吸收力も、この作用で腸絨毛細胞の活[illegible]が増すにつれて著しく増大となる

本品の服用後、食慾が日に見えて増進し、粥一碗がせいぜいであつた病臥中の患者が毎食事共二碗づつ食すやうになつたといふ報告も澤山あるが、胃腸の消化力が回復し吸收力が昂まれば、體力抗病力も充實し、大概の病氣も自然に撃[illegible]が迅くなる。なほ本劑は特に看板とはせぬ[illegible]、ヴィタミンＡＢＣＤＥの他アミノ酸等の貴重榮養素をも豐富[illegible]含有せしめ効果の増大を期してある。

慢性胃腸病者、毎年夏痩に惱む人、美食しても肥れぬ人や肺疾の方は一度試されたい。

購入の御注意

ネオネオギーは三百六十個入大瓶一月量金一圓五十錢、德用瓶は三圓、九圓の二種、粉狀、錠型の別あり。全國藥店に在るも植物ホルモン藥は本品以外になき故代品に注意ありたし。

直接 申込はハガキでよろし、代金引換で、鐵道荷造の上急送す。但し送料は特に研究所にて負擔する故、到着せば定價だけ支拂ありたし。滿洲外に限り振替東京五六八一三番へ拂込を乞ふ。申込は左記へ

東京市日本橋區堀留町二丁目
電停江中六
日本微生物研究所
今回當所は小石川關口町より右へ移轉せり

完全防濕瓶入約一月量
金一圓五十錢・德用瓶
三圓九圓全國藥店に有

NS1P-224

白き手の人々〔129〕

吉屋信子作　富永謙太郎繪

時の償ひ（八）

『貴女に獄んで戴けて、僕は滿足です。』

三郎は何か少年らしい頰に含羞の色を浮べて言つた。

『絢子さん、京城の女學校とやらには、長くいらつしやるのでございますか。』

勝倉夫人は心配げに問ふた。

『さあまだ、はつきりとは決めては居りませんが、どうせ暮りましたなら、一二年は私も世の中の勉強の爲に働いてみたいと思つて居ります、今まで、それこそ白い手をして、湯殿と父の富に甜つて、馬鹿のやうに遊つてゐた日と、別の生活をする時が來たのですもの。』

て、喜さめるやうだつた。

『兄が出立の時には、離にさうした内々のお約束があつたやうでございますが、父の御社があんな事になりましてから、勝塚さんでは事を逃したやうに、婚約の事をお取消しになりましたわ、でも、それが當然かも知れません、父も、今度の苦境について、勝家家を頼る氣は持ちませんでしたわ、勿論、頼つたところで。』

絢子が今こそ内輪の話を打明けた。

『しよげる事はありませんよ、一彦君もさういふ事があつて、初めてお坊ちやん氣質が訂正されてゆくんぢやありませんか、生意氣な言

今までにない頼もしい親さを感じた。それは父を助けて貰ふからばかりではない、三郎が青年として の得難い純情を持つてゐるのに惹かれたのである、此の間まで、雅子の弟だとしか思つてゐなかつた人が一人前の青年のやうに雄々しく見えた。

『絢子さん、久しぶりでお食事御一緒に召し上つていらしつて下さい、明日お別れすれば暫くおめにかゝれませんものね。』

勝倉夫人が椅子を立つて食堂の方へ眼をやつた。

『絢子さん、さうなすつてね、送別會のつもりで――』

『えゝ、有難う、遠慮なしにさうさせて頂きますわ。』

絢子も椅子を立ち上つた。

『俄かのことで何にもございませんが――』

間の戸を押し開いた。

絢子はその時、以前の勝倉家への打解けた感じより、もう一歩進んで血と肉の通ひ合ふやうな、懐しい親しさを深い感動で受けとつた、ことに彼女は三郎に鮮やかに印象づけられる形だつた。

絢子が答へた。

『私も、その内朝鮮へ、あなたに會ひに行かうかしら、朝鮮へ、どんな處か行つてみたいわ。』

雅子が微笑みながら言つた。

『來年竹下君が卒業したら、姉さん、新婚旅行に、朝鮮見物のプランを立てたら好いでせう。』

三郎が透かさず口を挾んだ。

雅子がぱつと赧くなつた、絢子の手前、まだ言はれたくない言葉であつたかも知れない。

『あゝさう、雅子さん、おめでたう、よかつたのね。』

絢子は重荷を下したやうに吻とした、絢子は兄に勝る頼もしげな婚約者が出來て、雅子もそれに滿足すれば――絢子は救はれた氣がしたのである。

『絢子さん、妙な事を言ひますが一彦君は勝塚のお孃さんと、その後婚約なさすつたさうですね、二三年後にはアメリカからお歸りになるのでせう、そしたら僕も和睦するつもりです。』

三郎が雅子の婚約者が竹下應二である事を説明してしまつた直後勝塚に一彦の事を言ひ出した、その瞬間、絢子の顔が、恥を感じ

ひ方だが。』

三郎が昂然とした、溜飲が下つたのであらう、絢子は顔が上げられなかつた、そして三郎に對して

京日特選棋譜（11）

五段　小澤了正
先二番二先　段　岡谷三男

白百三十一より百五十迄

勝敗數理論　覆面道人

早くも危急

先づ左下隅黒九の辭から初める黒九です一寸ぐと切るその定石が黒に好結果である。次に右下隅黒卅一は、左上隅卅二と出る征當りで、その當然の成行が以下黒四十五まで。だが白に四十六と押出されて、黒は早くも危急に直面した。

それに引替へ

黒が危急とは、白四十六に、以下黒五十一と、黒は此方を逃れたが、次に白五十二と、白に左側の黒十九以下を包圍され、その結果が黒七十五と辛くも活居。また下邊に黑八十九迄と、此方は黑地十目位だが、手數の割に引き合はない結果だ。それに引替へ白九十迄は、中央に見事な白壁構へ

明瞭な原理

なほ、以上に最も明瞭な、黒の敗因原理が現れてゐる。それは白九十以上六迄は、白が三十一手、黒八十九以下五迄は、黒が三十手その黒三十手には黒地十五目以下、白三十一手には、白九十から六十迄の外面最少限度見積り白地五目としても、隅の白地と合せて三十目近い。

次局高部八段登場

以上は概算だが、白が一手多い一手で、十五目近い收穫は、配當十割。では黒敗けだ。それで黒二十一は、要するに白を三十二と堅固を築かした黒が悪いから、黒二十一は百三十一の所がよい。また黒八十七は（い）がよい活點。と評は簡單にしてをく。

さて次局は高部八段と小澤五段とで、これは小澤五段が前回の復讐戰と、四回連勝を目指して意氣當るべからざるものがある。讀者刮目の大棋戰であらう。

ラヂオ

舞臺劇（道頓堀中座より）千人針（8・45）

淡味寺文五郎作＝＝尾崎貴三郎脚色

松竹家庭劇連中

梗概＝南日の丸錦主塚本は館名そのまゝの愛國主義者で、客から貰ふつり銭を竹商に貯めて陸軍へ献金することを長く續けて樂しみにしてゐる、店の職人三木は召集されて近く入隊することになつた、塚本は勿論その家族の面倒を見ることにする、それはよいが塚本の息子健太郎は豫備上等兵であるが、稼業の失敗に恥じて行方不明になつてゐる、三木に召集令が來たからは伜に下るのも間もあるまいと百方手を盡したが依然不明、毎日出る號外を見ては塚本、身も世もなくそれが當して短氣を起し剃刀握つて働く皆に制められたりする近く文店の主任になる筈であつた三木に洋品店の娘が嫁入りすることになつてゐた、出征までに夫婦の固めをさせようといふ塚本の考へとは反對に、先方では若しも戰死したら娘は若後家になるからといふ延期話が爆發して破談になる、三木のための千人針を塚本の娘に代つて聞に合せてやる藝妓の小金姐さんは據て三木を想ひ外の者には刺らせない熱度を待つてゐる北支の情勢に恥を忍んで健太郎が戻つて來たといふ親戚の通知は塚本を有頂天にする、破談を知つた小金の希望は膨んで迎へる塚本の口添で叶へられ、小金は近く銃を執る三木の手を固く握りしめて放さない、三木の若い頰は紅潮する塚本は日本晴れの顔を緻密花にして睦しい二人に見入る

浪花節（7・40）加賀百萬石　槍先の功名

浪花亭愛吉

織田信長が清洲の御殿で無禮の酒宴を催した折、家臣の前田犬千代が公の御前で一差し舞つた所、信長の御感に入り酒杯を下された、御殿女中の白菊が長柄の銚子を持ち酌をしようと過つてこぼし、傍にゐた柴田勝家の袴の紐をよごした、鬼柴田が白菊をにらむ様を見た信長は、犬千代の舞の手振の鮮やかさ故から、ちや、と取りなしたので、其場はすんだ

白菊には其の後、何時とはなしに犬千代を慕はしく思ふ心が生じ、或る夕刻、廣書院を通る犬千代を呼びとめて先日の無禮の詫びを申述べた、信長はその様を圖らずも目にとめ、殿中にての不義の語らひ不屆たと手打ちにしようとした時木下藤吉郎が進み出て信長を練め二人の成敗を預つて我が家に連れ戻りその夜二人を人目をさけて城下から出立させた

犬千代は加賀の國に赴き撰四郎利家と名を改め時節の來るのを待つてゐると永祿三年五月今川義元と織田信長が手切れとなつたと聞いて、公の恩を報ずるのは今だと早速馳せ參じ桶狹間の合戰の際今川勢の先陣三千餘騎の中へ只一人で駈けこみ、天晴れ武士道を立てるといふ加賀百萬石槍先の功名の一節

合唱（8・15）

京城放送合唱團　指揮　大場勇之助

今晩の合唱は力強い青年歌と勇壯な軍歌で出演は子供の時間で御馴染の京城放送合唱團です

朝鮮青年歌

朝鮮文藝會選　田中初夫作詞　大場勇之助作曲

一、來れよ若人いざ來りて朝鮮の繁榮に立てよ

あゝ我等青年朝鮮青年希望の輝く陽を浴びてこゝに造らむ新しき郷土を、生活を

二、集へよ若人いざ集ひて皇國の歴史を擔へる

あゝ我等青年朝鮮青年祖宗の精華うけつぎてこゝに造へむ美しき郷土を、生活を

三、努めよ若人いざ努めて滋土のめぐみに生きよ

あゝ我等青年朝鮮青年勤勞好愛つゝましくこゝに拓かむ豐けき郷土を、生活を――後略

勤勞歌（朝鮮文藝會選）

杉木長夫作詞　吉澤實作曲

一、半島の空曉りたつ金剛嶽の巖の如く高き理想に內鮮の若人こゝに手を把りて

拓け農村新世紀

二、仰げ山脈新穂の泉湧きせずこの沃土

若を育てゝこの郷土父母を助けて身を修め長き務をいそしまん　後略

皇軍を送る歌

一、人類正義の榮光を實現むむと神よりみそなはします修理固成その先陣ぞや皇軍は

二、思へや雨度の戰役を遠くは滿洲鋼鐵を思勇無比の皇軍が揮ひし威力幾何ぞ――後略

千人針の歌

田中初夫作詞　大場勇之助作曲

一、一針縫へば彈丸一つ、二針縫へば彈丸二つ彈丸はあれれと飛びくるも千人針のお守りは君が身體を護るべし

二、東亞の平和園の爲君は北支に銃をとる黃河のほとり星寒く閃光彈の光るとき千人針よ身を護れ――後略

國民歌謠【7・30】

征けよますらを

伴奏　大阪ラヂオオーケストラ

阿部幸次

征けよますらを凛然と起きたけびに、空陸兩ろ、正義に向ふ敵もなく御稜威の輝きて、長城の彼方萬里の道を越え明朗共に望むべし

けふのプロ

十五日（日）第一放送

◎番組中▲を附せるは野球休止の場合中繼

午前六時（東）ラヂオ體操　日本橋區濱町公園より

同六時三五分（東）全國ニュース

同七時　今日の天氣見込

同七時一分（札）夏の小品

同七時二〇分（東）ラヂオ體操　日本橋區濱町公園より

同八時一〇分（京）西園寺會法要　淨土宗總本山智恩院大殿より中繼　導師總本長　數內彦瑞　維那　奥良山　他一山僧衆出仕

同八時五〇分（大）第二十三回全國中等野球

同九時二〇分（城）氣象通報（滿津はローカル）

▲同九時三〇分（東）漫畫劇

▲同一〇時（宮）講演　選學博士　橋本重郎

▲同一〇時二〇分（東）講演　詩と戰役

▲同一〇時四〇分（名）選販講演　河井醉茗

同一一時一〇分（大）海外市況　市川光宜

▲同一一時二〇分（東）講演　一人、一日、一錢の醵金　原田紹治

正午（東）時報

午後零時三〇分　ニュース

同零時五〇分（東）ラヂオ體操

▲同一時漸淵より（奉天）滿洲新歌曲

▲同一時二〇分（東）管絃樂（通俗名曲定期演奏第二十回）日本放送交響樂團

▲同一時五〇分（東）講談　木下藤吉郎近江の使者　田邊南龍

▲同二時三〇分ひやりとする話　銷夏十分間演藝

▲同三時（東）新日本音樂

同四時　ニュース

同五時　東京大相撲實況（釜山）二日目　昭和通相撲場より中繼

同六時　産業ニュース

同六時三〇分（東）夏休みラヂオ双六（第八日）

同七時　ニュース　天氣見込

同七時三〇分（大）國民歌謠　伴奏　大阪ラヂオオーケストラ　一、征けよますらを　阿部幸次

二、航空決死兵　關種子

同七時四〇分（東）浪花節　加賀百萬石槍先の功名　浪花亭愛吉

同八時一五分（城）合唱　京城放送合唱團　伴奏並指揮　大場勇之助

一、朝鮮青年歌　二、勤勞歌　三、皇軍を送る歌　四、千人針の歌　五、征途の皇軍へ捧ぐ　六、征途を送る歌

同八時一五分　長唄（清津）秋の色種　唄杵屋小秀　梅田とめ　村上淑子　三味線杵屋勝徹　前田花子（上調子）杵屋勝明

同八時一五分　琵琶（釜山）奈閑少佐　齋藤旭邑

同八時三五分（大）短歌朗詠　國歌集　柳田新太郎　愛

同八時四五分（大）舞臺劇　千人針　道頓堀中座より中繼　松竹家庭劇

丸理髪館の場　高田百外

同九時三〇分（東）時報外

同一〇時（城）獨唱（第二放送及釜山・淸津）　任祥姬

第二放送

午後零時五〇分　音樂　李幸珏外

同一時三〇分　レコード音樂

同六時三〇分　唱戲劇　コドモクラブ

同六時五五分　修養講話　金默照

同八時　歌曲　李炳星外

同八時三〇分　ラヂオドラマ　女流演劇クラブ

同九時　唱劇調　曹弄玉

同一〇時　獨唱　任祥姬

あすの聞き物　十六日（月）

午後六時（名）天然記念物めぐり　三重縣

同七時三〇分（城）時局講演　時局に際して所感を語る　總督府外務部長　松澤龍雄

同八時（城）俚謠　正調江差追分　宮下貞子外

同八時一五分（東）浪談　鐵窓淵　柳家金與樓

同八時四〇分（東）日本選手權水上競技大會實況　明治神宮外苑プールより中繼

夏休み　ラヂオ双六

夏の休みのたのしみは　ラヂオ双六ヨイヨヤサ　誰でもかつてもいらつしやい

皆でこゝでヨイヨヤサまるく集まりきゝませう

ラヂオ双六も今日はいよいよ八日目で、殘り少なになりました。今日は北海道の旭川から始まります旭川からどこが何でも面白いラヂオ・スケッチだと云ふ評判です。旭川からどこへ飛ぶか調べて見ませう。（2）が宮崎、（3）が秋田、（4）が台灣の台中となつてゐますが、多分台灣へ飛ぶのではないかと思ひます。台灣からどこへ行くかですが、（1）は德島と思ひます

航空決死兵

稻野靜哉作詞　內田元作曲　關種子

邦は新たに興るとき、東亞の平和親善の、一路を阻むいく年の、迷夢のとりで踏み破れ

拂へど散らぬ黑雲の、東亞の空に吹きすさぶ、世紀の嵐身に負ひて飛ぶよ航空決死兵

護りに殘る義民を、蒋くは今ぞこの時と、曠野にそそぐ血は燃えて飛ぶよ航空決死兵

祖國の安危擔ひては、斷じて生きて還らざる、男の子の決意高鳴りて、飛ぶよ航空決死兵

朝鮮郵船出帆

西鮮航路

北鮮航路

大阪商船出帆

仁川港出帆豫定

尼崎汽船出帆

朝鮮郵船定期出帆

沿岸郵船出帆

朝鮮汽船出帆

近海郵船出帆

內鮮運輸出帆

大和組回漕部

阿波共同汽船出帆

野口商會